



VOL.15

まとは慎一JOURNAL

スマホラジオで情報発信しています！



堺市政や地元情報、政治関連など時にはゲストもお迎えしてラジオ放送しています。番組はスマートフォンでお聴き頂けます。

←最新は103回放送、ゲストは馬場伸幸衆議院議員、西林府議にて

iPhoneの場合



←このアイコンの(PODCAST)アプリが標準で入っていますのでアプリを開けて「まとは慎一」と検索下さい。(無料です)



←検索イメージ

アンドロイド等の場合



←このアイコンのSpotifyというアプリをダウンロード

アプリの検索で「まとは慎一」と検索頂くと番組が出てきます。

オフィシャルサイトでも下記QRコードのリンク先でもお聴き頂けます。



堺市のコロナワクチン接種について

永藤堺市長は昨年の12月からワクチン接種特設チームを結成し、ワクチン接種体制構築を進めました。結果、他自治体に比べて接種体制がいち早く整備され、接種率も全国的に比べて高い自治体として紹介もされました。

8月30日から12歳以上のすべての世代で予約開始！

今後の予約スケジュール



日程	接種対象者
8月16日(月)	・高齢者の方 ・基礎疾患がある方 ・施設従事者 ・基礎疾患がない40歳～64歳の方
8月30日(月)	上記の方に加え ・基礎疾患がない12～39歳の方

すべての接種対象者の予約受付を開始

※新たに予約可能な接種期間：9月13日(月)～10月10日(日)

※予約枠に空きがあれば個別接種は8月30日、集団接種は31日から接種可能

堺市では、いよいよ接種対象者のすべての世代で予約開始となります。金岡の堺市大規模接種会場では8月20日から30代の方の予約も前倒し実施。ご希望されるお一人でも多くの市民の皆様に安全に接種頂く体制を進めています。

まとは慎一事務所 〒590-0103 堺市南区深阪南342-12

TEL：072-230-1887 ・ ホームページ www.ishin-matoba.com

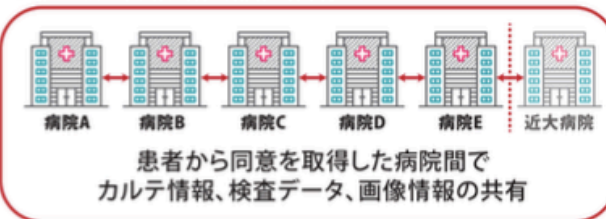
堺市議会議員 まとば慎一の取り組み紹介

今回は「医療ネットワーク構築」です！

平成29年から医療ネットワーク構築に議会質疑など、取り組んできました。かかりつけのお医者さん、クリニックと堺市の主要な大きな病院とをネットワークで結び、いざ大きな病院で検査が必要になっても病院間でデータを共有。患者としてはレントゲン写真など持参しなくても手ぶらで行けるネットワーク。いよいよ堺市は今年の4月からネットワーク構築に向けて動き出しました。

堺市地域医療情報ネットワークイメージ図

市内地域医療支援病院(情報公開施設)



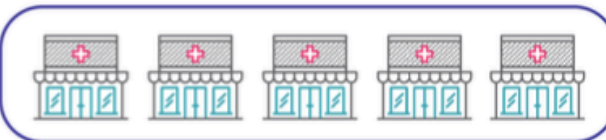
①患者から取得した
同意書の提出



②カルテ情報
検査データ
画像情報の共有



市内診療所



医療ネットワーク、市民のメリットは



- かかりつけ医さん(診療所)から大きな病院で検査が必要になってもレントゲン写真などを持参しなくて良い。
- 大きな病院で行った検査結果が、かかりつけ医さん(診療所)で確認できる。市民は結果を踏まえた治療を速やかに受けることができる。
- 検査が重なったり、過剰な投薬を抑え市民の負担が軽減する。
- 転院の時や在宅医療への移行も円滑になる。
- 診療情報が共有されるため医師は患者の豊富な情報が得られる。結果、医療の質が高まる。
- ネットワーク内の病院に救急で運ばれた時も診療所でのデータが共有され安全に。

南区にやってくる近大病院も地域医療に貢献へ！



現在、南区へ移転予定の近大病院と堺市で医療ネットワークへの参加や地域医療貢献について様々な協議が進められています。

2024年春開設を目指す近畿大学医学部附属病院